

原田助 牧師、同志社社長。同志社では学内問題、ハワイでは排日問題に挫折するも、国際主義を唱え続けた。

はらだたすく

8月18日政変 1863 = 肥後国熊本で、藩士鎌田収の次男に生まれる。

明治維新・ 1868 = 5歳 :

学問のすすめ1872 = 9歳 :

明治6年政変 1873 = 10歳 :

横井小楠の門弟竹崎律次郎の(日新堂)で儒学を修めた後、熊本洋学校に入学し、L.L.ジェーンズより薫陶を受けたが、

三つの反乱・ 1876 = 13歳 : 熊本洋学校が廃校になったため、広取英語学校に入学、

沖縄県編入・ 1879 = 16歳 : 卒業し、熊本バンドと呼ばれた第一回卒業生の出た翌年、
・ 1880 = 17歳 : 同志社英学校神学科に入学、大西祝と親交し、新島襄の聖書講義に参加、自ら遺した日記に、強く感化され、キリスト教の伝道者になることを決意、

明治14年政変1881 = 18歳 : M.L.ゴードン宣教師より洗礼を受けた。
在学中、徴兵を逃れるため、山鹿郡上長野村の平民原田林平の養子になる。その見識と学識は宣教師の間でも高く評価され、神戸女学院から招聘されたが、大西の意見も聞いて断わっている。

秩父事件・ 1884 = 21歳 : 卒業。按手礼を受けて、神戸教会の牧師に就任したが、アメリカ留学を希望、

内閣発足・ 1885 = 22歳 : 渡米。イエール大学に入るには事前の学識経験が必要と、シカゴ神学校の大学院の特別学生として入学、

国民之友始・ 1887 = 24歳 : 横井時雄の勧めで、イエール大学の神学部に移り、組合教会世界大会や世界YMCA大会にも、日本代表として出席、日本人キリスト者として、国際的にも高い評価、

帝国憲法発布1889 = 26歳 :

帝国議会始・ 1890 = 27歳 : 同志社から、ゴードンの後任として招聘され、

大津事件・ 1891 = 28歳 : 卒業して帰国。

大本教・ 1892 = 29歳 : 同志社神学部教授に着任、アメリカンボードと同志社が対立するなか、
{基督教新聞}{六合雑誌}{基督教世界}の編集に携わり、番町、平安、神戸の各教会の牧師も歴任、

日清戦争始・ 1894 = 31歳 :

八幡製鉄始・ 1897 = 34歳 : 同志社社長に就任した横井時雄が、尋常中学校の設立に当たり、徴兵令の適用を受けるべく、同志社綱領の一部を削除しようとして、アメリカンボードとの対立が激化、結局、綱領を元に戻し、普通学校を設立することになったが、自らは削除に賛成するなど、時代に即して楽観的であった。

Bushidou・ 1899 = 36歳 :

日露戦争終・ 1905 = 42歳 :

韓国反日暴動1907 = 44歳 : *理事会の推挙を受け、満場一致で、同志社第7代目社長に就任。論文「教育の根底」で、'同志社魂に誇りを持ち、同志社人が一体になるべき'と説いて、新島襄が望んでいた大学設立に取組み、

アララギ 創刊・ 1908 = 45歳 :

伊藤博文暗殺1909 = 46歳 : 著書「信仰と理想」、

韓国併合・ 1910 = 47歳 : 欧米を歴訪してエディンバラ宣教会議およびアメリカン・ボード100年記念会に出席し、エディンバラ大学とアマースト大学(新島襄の母校)から名誉学位を贈られるなど、欧米における同志社の名声を上げ、

明治天皇没・ 1912 = 49歳 : *専門学校令により同志社大学および同志社女学校専門学部の設立が認可され、学生総数と基本財産を三倍近くにするなど、同志社の発展に寄与したが、

21ヶ条要求・ 1915 = 52歳 : 勲五等瑞宝章、
講演や伝道活動などで学校を空けることが多く、校務をおろそかにしているとの批判の声が上がリ、やがて原田派と反原田派の間で対立が生じ、その結果、理事・監事・学部主任などの大量辞職を招き、

ロシア革命・ 1917 = 54歳 :

ベルサイユ条約 1919 = 56歳 : 失意のうちに、同志社総長(前年社長を改称)を辞任するに至る。欧米の大学や教会を講演旅行するうち、
大暴落・ 1920 = 57歳 : ハワイ大学から、日本の歴史や文学を担当する教授に招聘されるが、渋沢栄一に会った際、排日問題が大きくなると、日米関係委員会から委託されて調査、詳細な結果「米国加州排日問題調査報告」を提出、

原敬首相暗殺1921 = 58歳 : *ハワイ大学に赴任、用意されていた、日本歴史や文学、比較宗教史などの日本学関連講座

水平社結成・ 1922 = 59歳 : *邦字新聞に、論文「第三維新」を発表、国際協調の理想を実現すべく、教育に大きな期待をし、同大学の日本学の基礎を築き、日本を反省的に見る目を養い、ハワイの日系人社会とアメリカ社会をつなぐ重要な役割を果たし続けたが、排日運動と関連して、日本語教育禁止問題へと発展するなか、

円本時代始・ 1926 = 63歳 :

満州事変・ 1931 = 68歳 :

五一五事件・ 1932 = 69歳 : 病のため退職帰朝し、同大学から法学博士の名誉学位を贈られ、名誉教授に推された。

以後、病気治療に専念するが、

芥川直木賞始1935 = 72歳 :

日中戦争始・ 1937 = 74歳 :

大政翼賛会・ 1940 = 77歳 : 京都市上京区の自宅で_没した。葬儀は同志社栄光館で行われた。

日米開戦翌年昭和天皇の意向で開設されたパチカン大使館の初代全権パチカン公使で、2代目の宮内庁式部職官長を務めた原田健の父、